

## D-flip（ディーフリップ）工法

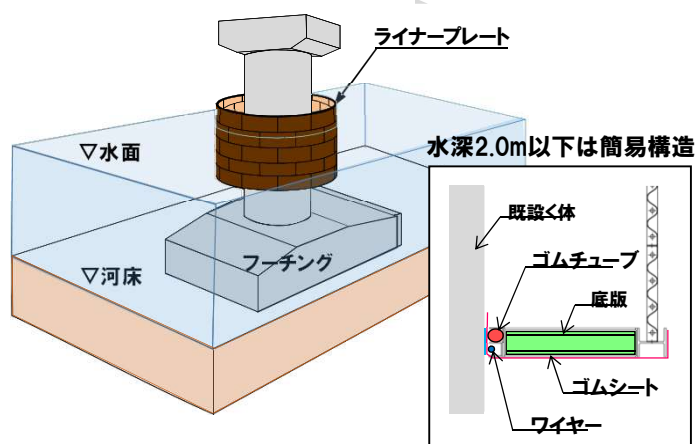
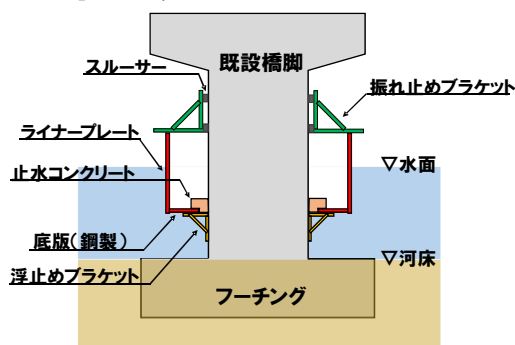
橋梁

## ■ 技術の概要

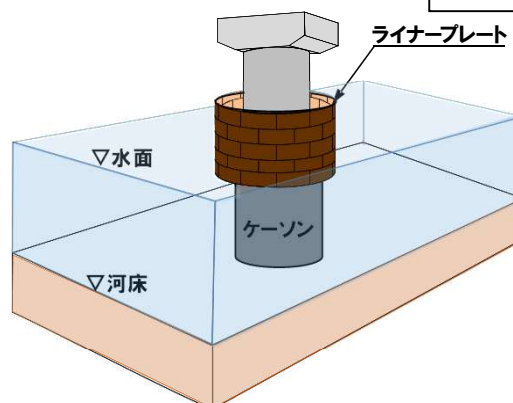
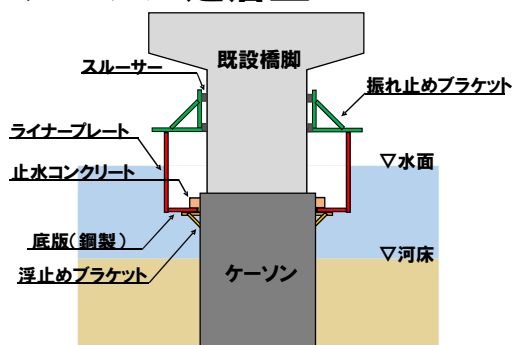
本工法は、従来の鋼矢板等を使用した仮締切り工法に比べ、仮締切り設備の省力化・小規模化により仮設工事の工期短縮やコストダウンを図れます。

任意深度定着型仮締切り工法と表現しているように、既設橋脚外周の任意の高さ（深さ）で仮締切り設備を固定して、ドライな空間を構築することができます。また、フーチングのようなコンクリート上面に定着することもできます。そのため、鋼矢板工法のような河床条件（地盤の硬さ、護床工等）に影響される事が無く、さらに大型重機械作業も不要となります。

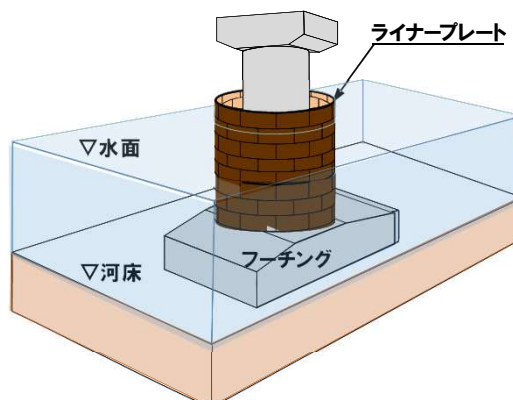
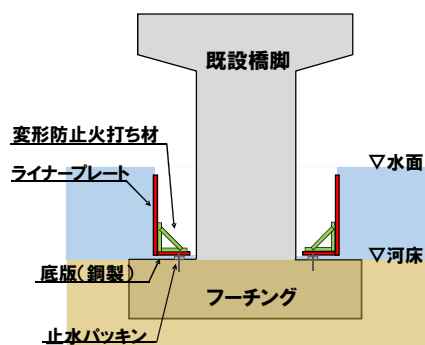
## 1 途中締切り型



## 2 ケーソン定着型



## 3 フーチング定着型



## ■ 適用箇所

河川の流水部や湖沼、港湾に位置する橋脚等の構造物。（円形断面及び小判型断面に適用可）  
地盤が硬質で仮栈橋の親杭打設や鋼矢板等による仮締切りが困難な箇所。



仮締切り設備（ライナープレート）組立



吊り降ろし



仮締切り設備（ライナープレート）沈設完了

## ■ 特長及び優位性

- ◎ 補修・補強工事に必要な範囲に限定した仮締切りにより、仮締切り設備の小規模化と施工の省力化が図れます。
- ◎ 仮締切りの小規模化に伴うコストダウンと工期短縮が可能です。
- ◎ 仮締切り材の河床等地盤への貫入が不要のため、河床条件に左右されません。  
（地盤条件や護床工等）
- ◎ 部材の分割化により人力施工が可能です。  
（仮締切り構造部材を人力で持ち運びできるように、部材を50kg以下で加工し軽量化）
- ◎ 底版が必要な構造の場合、水深は8.0m以下になります。

## ■ 施工実績


- 奥羽本線 富根・二ツ井間米代川橋りょう橋脚耐震補強工事
- 信越本線 来迎寺・前川間信濃川橋りょう橋脚耐震補強工事
- 府屋大橋耐震補強工事
- 羽越本線 北余目・砂越間第二最上川橋りょう橋脚耐震補強工事
- 高松自動車道 中村高架橋他9橋耐震補強工事(大池橋)

ほか



【問合せ先】

第一建設工業株式会社 本社 土木本部 事業部  
〒950-8582 新潟県新潟市中央区八千代1丁目4番34号  
TEL:025-241-8120 / FAX:025-249-7476  
E-mail:doboku.zigyo@daiichi-kensetsu.co.jp

 人に夢、街にめぐり  
第一建設工業株式会社

■ 任意深度定着型仮締切工法協会 ■

<https://www.d-flip.jp/>

